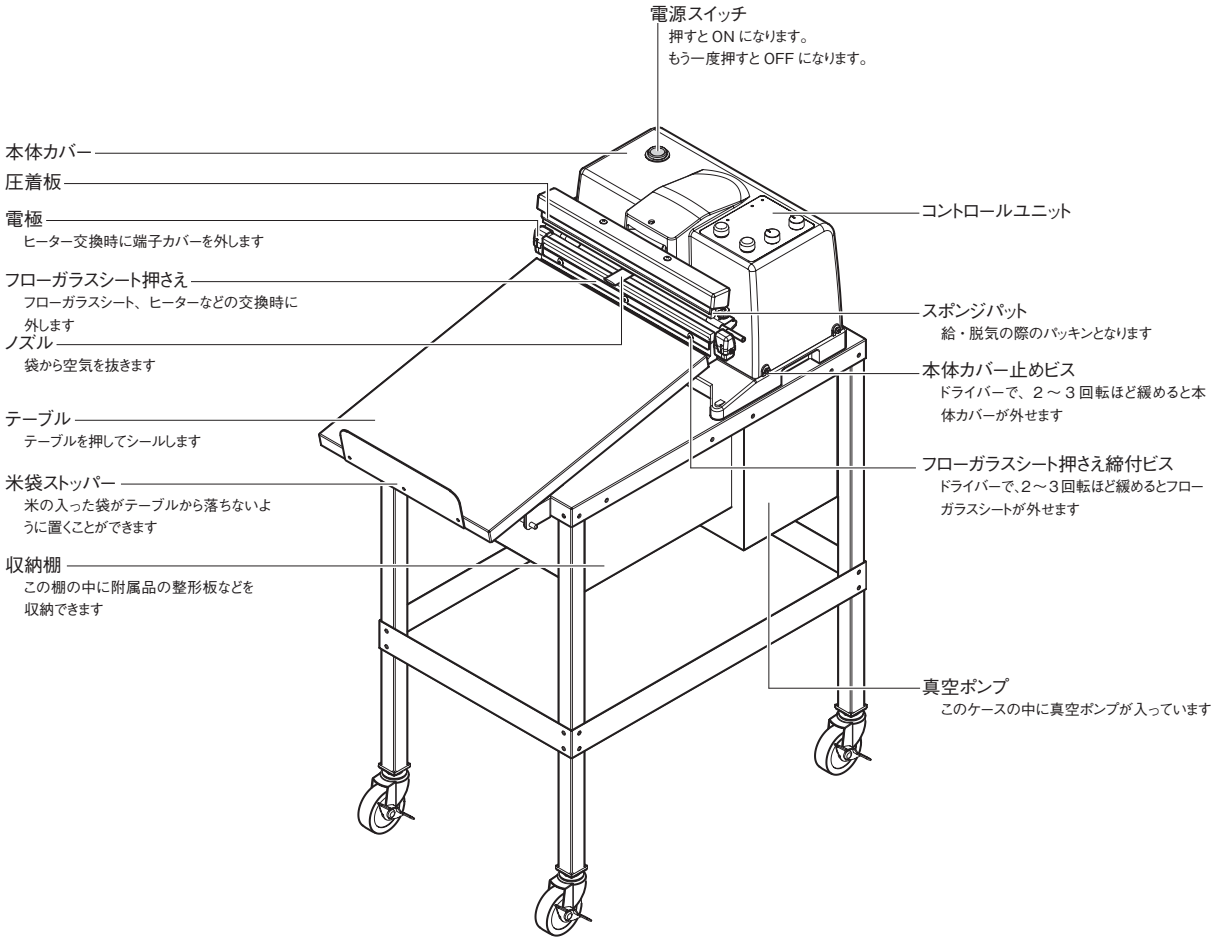
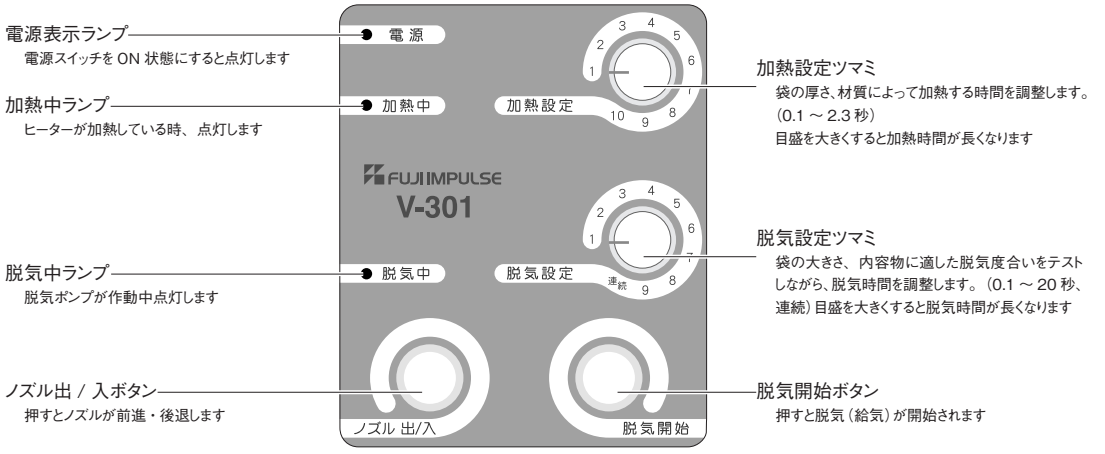
7　各部の名称とはたらき



コントロールパネル



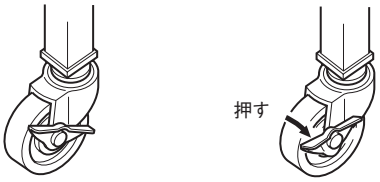
8　正しい使い方

製品を使用される時は以下の『正しい使い方』をよくお読みいただき、お使いください。
以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

8-1　製品を設置する

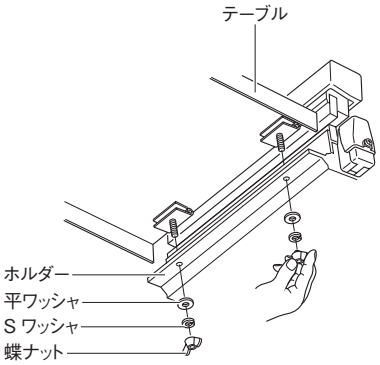
水平な面を持つ適切な作業環境でご使用ください。

⚠ 警告　水平な面を持たない不安定な床に不安定な状態で設置するとシーラーが転倒する危険性があります。設置場所が決まれば４ヶ所のキャスター横の金具の ON と書いてある方を押さえて（足で踏んでもかまいません）キャスターのコマが回転しないようにして設置場所に固定してください。

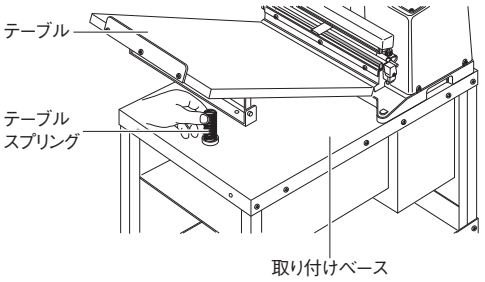


8-2　テーブルを取り付ける

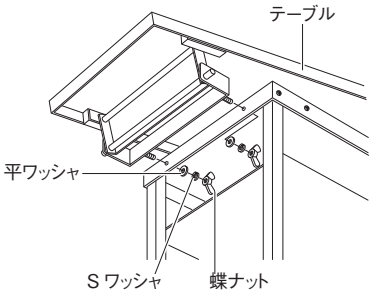
1　本体ホルダーに蝶ナットで附属のテーブルを固定してください。テーブル取り付けビスはイラストのようにビスの付いている蝶番を内側に折りたたんだ状態でビスをホルダーの穴に上から差し込んでください。



2　テーブルスプリングを取り付けベース上面の受け金具の上に載せます。（テーブルスプリングはテーブルと一緒に梱包されています）



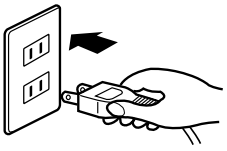
3　テーブル手前の金具のビスを取り付けベースの穴に差し込み、蝶ナットとワッシャで締め付け固定してください。



8-3　電源コードの接続

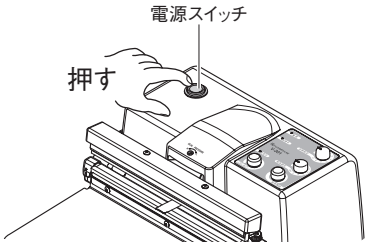
製品の正面向かって左側にある電源コードの差し込みプラグを規定の容量を持つコンセントに確実に根元まで差し込んでください。

⚠ 警告　規定の容量に合わない場合、火災が発生する場合があります。



8-4　電源スイッチ ON

本体カバー上の電源スイッチを押して ON 状態にするとタイマーの電源ランプが点灯します。

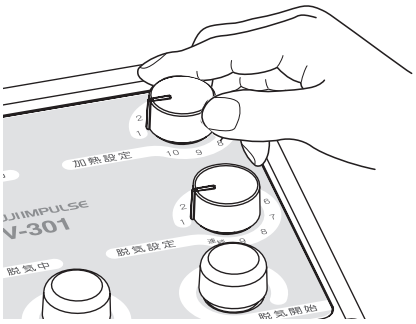


8-5　シール条件を設定する

加熱時間と脱気時間を設定します。袋（フィルム）の材質、厚さなどにより設定値は変わりますので、異なる袋（フィルム）を使用される時はその都度設定をやり直してください。

■ 加熱時間の設定

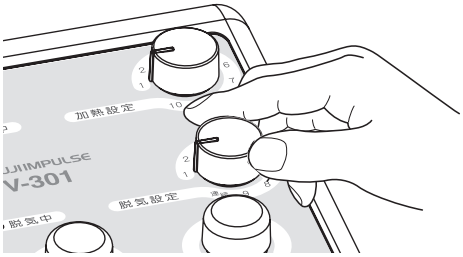
加熱設定ツマミを回して設定します。目盛を大きくすると、加熱時間は長くなります。（0.1 ～ 2.3 秒の範囲）使用される袋（フィルム）の材質により加熱時間は異なります。シールができる最短の時間で設定してください。作業速度が上がり、部品の無駄な消耗を抑えます。



⚠ 警告　加熱設定の目盛を大きくして「8-10 冷却時間をとる」で説明します冷却時間をとらないで連続使用すると、フローガラスシートなどが焼け火災が発生する場合があります。

■ 脱気時間の設定

脱気設定ツマミを回して設定します。目盛を大きくすると、脱気時間が長くなります。（0.1 ～ 20 秒、連続の範囲）



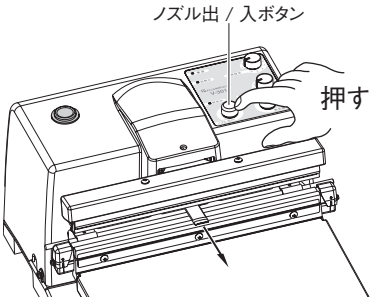
注 ！　脱気設定ツマミを連続の位置に設定すると”ピッ”とブザーが鳴り、脱気時間が無制限になります。（“連続”の設定を解除したときはブザーが 2 度鳴ります）脱気中にノズル出 / 入ボタンが押されるまでポンプが稼働し続けます。

通常は脱気設定ツマミの目盛を 9 にしてください。小袋の場合は目盛を小さめにして脱気具合をテストをしながら調整してください。

注 ！　この時、加熱設定ツマミの目盛を 1 にして、シールされない状態にしておくと繰り返して脱気のテストができます。

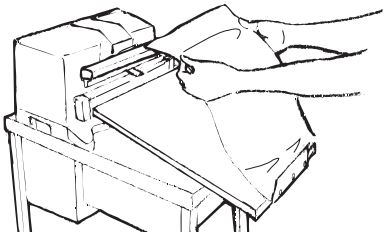
8-6　ノズルを出す

ノズル出 / 入ボタンを押すとノズルがシール部より前に出てきます。

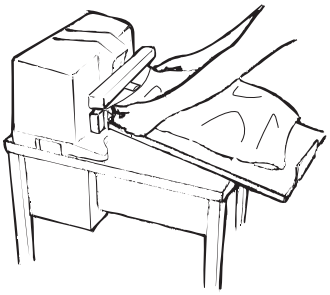


8-7　袋を整える

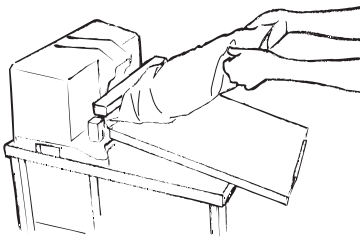
1　米を入れた米袋をテーブルの上に載せて両手で袋の両端をピンと張ります。



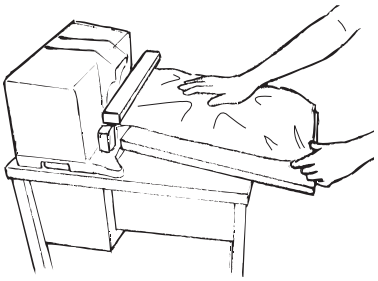
2　袋の開口部の中にノズルを差し込みます。この時、袋を両手で持ち開口部の袋の上側のフィルムを少し手前にずらすとノズルが差し込みやすくなります。
袋のシワが無くなるように両手で袋を左右にピンと張りながらテーブルをカチッと音がするまで押し下げると袋がシール部に挟み込まれた状態で固定されます。



3　袋の底を持ち上げて、米をできるだけノズルの吸い込み口の方へ移動させます。

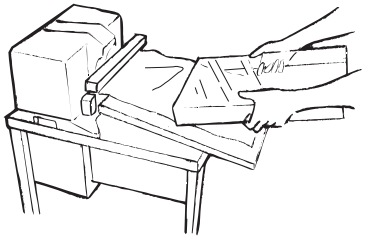


4　手で袋の上から軽くたたいて米を平らに整え、空気が少し出るようにします。



5　附属の整形板で米袋の上部より米をさらに平らに整えます。立っている状態の米があると真空脱気後、袋を破る場合がありますので、立っている状態の米がないように整えてください

6　整形板で米袋を押さえて形を整えます。

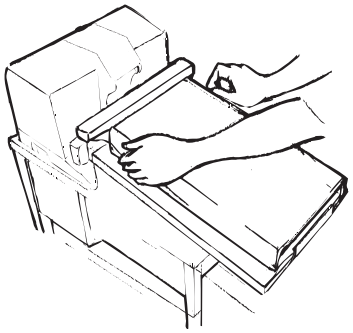


8-8　脱気開始ボタンを押す

脱気開始ボタンを押すと脱気が始まります。脱気設定ツマミでセットした時間だけ脱気が行われます。脱気が少ない場合は、脱気時間を長く設定してください。脱気が終了するとノズルが自動で初期位置に戻ります。

8-9　さらにテーブルを押さえる

ノズルが戻った後、両手でもう一度テーブルを押し下げます。シール加熱が開始されます。テーブルは押さえたままにしてください。

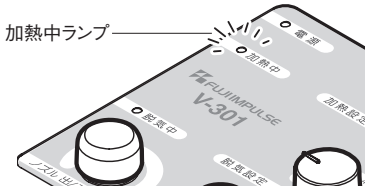


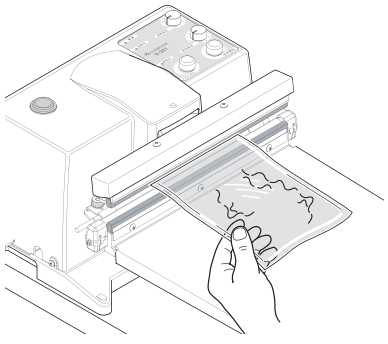
注 ！　脱気状態を目で見ながら判断したい場合、適量脱気したときに脱気を止めたい場合は、脱気ポンプが作動中にノズル出 / 入ボタンを押してください。
脱気の途中でもノズルが初期位置に戻り脱気ポンプは停止します。

注 ！　脱気設定ツマミを”連続”の位置に設定すると脱気時間が無制限になり、脱気中にノズル出 / 入ボタンが押されるまで脱気ポンプが作動し続けます。

8-10　冷却時間をとる

加熱中ランプが消え、ピッと合図音が鳴るまで、テーブルを押さえたままにしてください。合図音が鳴ってから、テーブルを押すのを終了してください。
インパルス方式のシーラーはフィルムに加熱後、フィルムを挟み込んだままフレーム、圧着レバーから放熱させ、フィルムを固める冷却時間が必要です。
V-301R-35 では、加熱中ランプが消えた後に 2 ～ 3 秒間、テーブルを押さえる力を緩めずに押さえたままの状態を保つことでフィルムを冷却し、固めます。





⚠ 注意　充分な冷却時間をとらないと、シール不良につながり、部品の消耗を早めます。特にV-301R-35 で行う脱気包装では内容物の長期保存を目的として使用しますので、シール不良があると内容物の酸化・腐敗をまねくおそれが大きくなります。

8-11　シールのできあがり

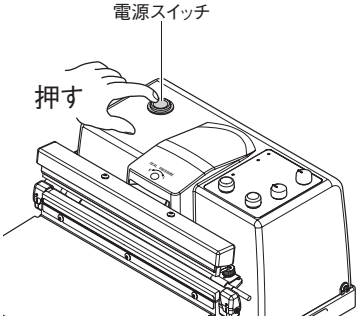
加熱･冷却終了後､テーブルを押すのを終了すれば､シール完了です。うまくシールができていない場合は再度、加熱・冷却・加圧力の設定をやり直してください。

8-12　電源スイッチを OFF にする

作業が終了したら、必ず電源スイッチを押して OFF 状態にしてください。

⚠ 注意　ノズル破損防止のため、ノズル出 / 入ボタンを押して、ノズルを収納した状態で電源スイッチを OFF 状態にしてください。

長時間使用されない時は電源プラグをコンセントから抜いてください。



8-13　作業終了後の点検

作業が終了したら、製品を清掃し、フィルターに異物が詰まっていないか確認してください。たくさん詰まっている場合は「9-7 フィルターの清掃とエレメントの交換」をお読みいただき、詰まりを取り除いてください。